

果樹病虫害発生予察調査結果（5/11 調査分）
（三条、加茂、田上地域）

5月11日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（モ モ）

調査地点ごとに結果枝150本、5新梢、100花について調査した結果、せん孔細菌病の春型枝病斑（スプリングキャンカー）が確認されました。り病葉をせん除し、ほ場外へ搬出・処分をお願いします。新梢葉での発病も確認されており、今後の風雨によりほぼ確実に感染が拡大しますので予防防除の徹底をお願いします。開花初期から袋かけ前までが重点防除期で、一旦発生すると進行を食い止めることが困難になります。

また、モモハモグリガについてトラップ調査では発生は確認されていませんが、被害の発生に注意し、防除時期の遅れが無いよう園地の確認をお願いします。

※ウメシロカイガラムシの孵化時期について

有効積算温度による孵化盛期予想では、ウメシロカイガラムシ（田上町、三条市の一部に寄生）は5月17日頃が孵化盛期となります。園地条件や今後の気象条件によって孵化盛期が前後することも想定されますので、各自園地を確認のうえ対応してください。

ナシヒメシンクイのトラップ調査では、前年より早めに誘殺されています。第1世代幼虫は5月18日頃までが防除適期となります。前年度被害の多かった園地やもも園では、引き続き丁寧に散布しましょう。

（ナ シ）

降ひょうや低温による被害果が確認されています。摘果の際には幼果をよく確認し、正常果を残すように心がけてください。

調査地点ごとに5新梢、200花そう葉、100果を調査した結果、ニセナシサビダニの発生が確認されています。各自園地確認をお願いします。

セイヨウナシ褐色斑点病について、今回の調査では発病は確認されませんで

したが、今後の発病に注意してください。5月は重要防除時期となりますので、予防防除の徹底を図るとともに病斑のある葉が見られた場合は、摘葉するよう心がけてください。

黒星病について、一部の園地では果実への感染が確認されています。今後の降雨により感染拡大が懸念されますので、り病葉やり病果は確認次第は場外へ搬出し処分するとともに、徹底した予防防除に努めてください（この時期での防除が最も重要になると思われま

ニセナシサビダニは果そう葉に被害が確認されています。今後、高温乾燥が続くとハダニ類を含め発生が助長、前進すると推察されます。いずれのダニ類も早めの薬剤防除対応が効果的です。

※これに関連した情報、生育情報については農業普及指導センターから、防除情報についてはJAから追って送付されますので、情報を参考に適正管理に努めてください。

○次回調査は5月26日（火）です。調査員の方はよろしくお願ひします。

- 新型コロナウイルスの感染を防止するため、「3つの密（密閉、密集、密接）」を避けて作業しましょう。
- 屋内でも多人数で作業する場合は、できる限りマスクを着用するなど感染防止に努めてください。
- 体調管理に注意し、こまめな手洗い、咳エチケットを実施しましょう。

担当：果樹共済係
TEL 0258-36-8105
FAX 0258-34-8020